

アワビ・ウニの餌料対策について	
ねらい:	アワビ・ウニの餌料海藻を安定して生育させるための漁場管理手法の確立を目的として、ウニ除去による海藻群落造成を試みる。
成果の特徴:	①漁場（50m×50m）からのウニ除去により、コンブやワカメ等の餌料海藻群落の造成が実証できた（図1～図4）。 ②ウニ類の生息量の推移から見たウニ除去効果の持続期間は、浅場（田老地区大規模増殖場の離岸潜堤の岸側）でおよそ10ヶ月、深場（同、沖側）で19ヶ月超であった（図5～図6）。 ③ウニ除去処理は、その漁場に生息するウニ類の生殖巣指数の向上にも有効であった（図7）。
成果の活用面:	アワビ、ウニの主要餌料であり、これらの漁獲量に大きな影響をあたえる大型海藻を漁場に安定して生育させることが可能となる。これにより、アワビ、ウニの漁獲量の安定・増大が期待される。

[具体的データ]

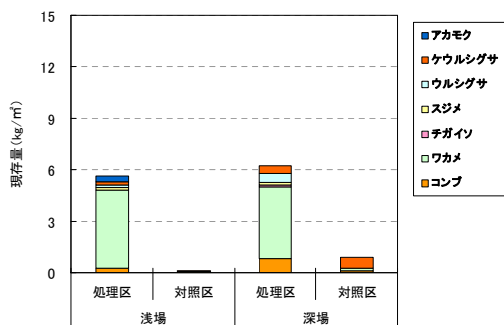


図1 2005年6月の大型海藻の現存量

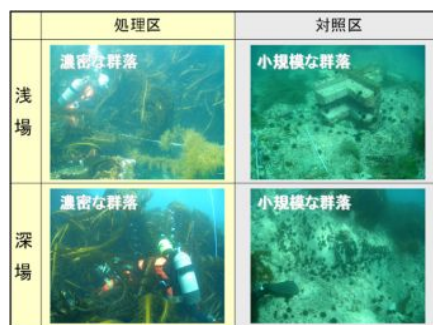


図2 2005年6月の大型海藻の生育状況

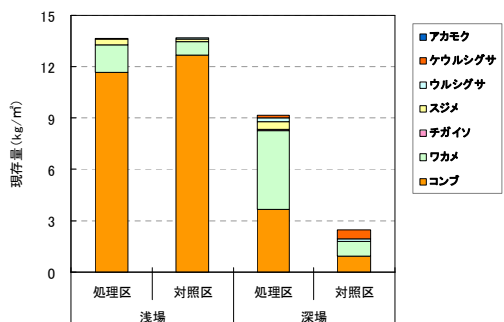


図3 2006年7月の大型海藻の現存量

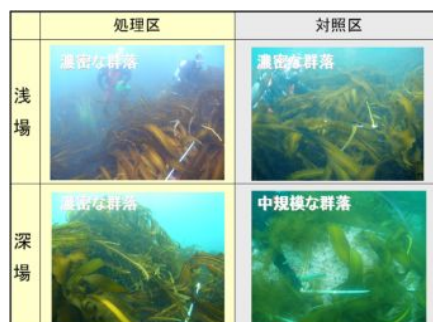


図4 2006年7月の大型海藻の生育状況

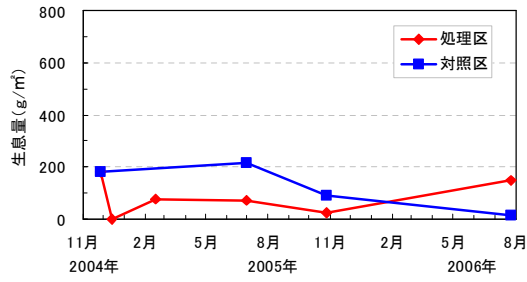


図5 浅場におけるウニ類の生息量の推移

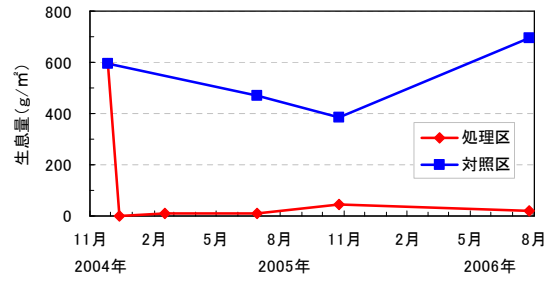


図6 深場におけるウニ類の生息量の推移

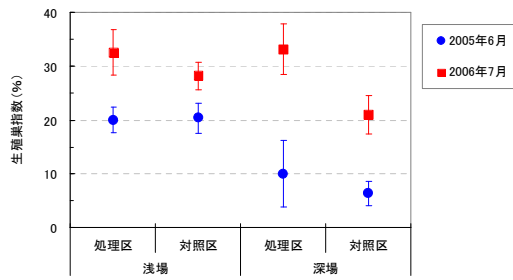


図7 キタムラサキウニの生殖腺指数

担当者	増養殖部 専門研究員 藤原孝行 Tel0193-26-7917 FAX0193-26-7920
連絡先	〒026-0001 岩手県釜石市大字平田第3地割75番3号
	ホームページ http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/